

檜原憲法九条の会ニュース

No 4 0

事務局・連絡先 樽門 075-391-0567 下山 075-392-3861

守ろう！
憲法九条
21世紀の宝



池田桂子作

こども神輿だ みんな楽しくガンバシ！

よいしょ・・ヨイシヨ・・



(檜原のこども神輿 写真提供：下山氏)

この子らに

戦争のない未来を！

九条を

生かす政治を！

日本は昭和に国(政府)が起こした侵略戦争を深く反省し「二度と戦争しない」と誓い、戦争放棄の九条を持つ平和憲法を施行しました。それから今日まで(平成を含む73年間)一人も戦争で死ぬことはありませんでした。今まで国民が憲法九条を守ってきたからです。大戦時、軍国の統制下では国中どこも「お祭り」など出来ませんでした。こども神輿の「よいしょ・・」の掛け声が地域に響くときは平和です。「令和」の今、平和憲法を生かす政治で発展する日本にしたいものです。

アベ改憲の行先は

「戦争する軍事国家」

いまアベ首相は「憲法九条に自衛隊を追加する」という改憲を画策しています。もし、この改憲を許せば、九条をなし崩しにされて日本は自衛隊戦力の軍事国家になってしまうでしょう。

私たちに出来ること

- ・アベ九条改憲を阻止するために野党国会議員を三分の一以上に増やそう！
- ・改憲派議員を大いに批判しよう！



どんぐり
団栗帽子

朝三暮四

列子

(言葉たくみにごまかすこと)

アベくんたちは消費税を10%に増税するにつき、多額の税金を使い、低所得者に軽減策として「プレミアム商品券」を与え、「頂いた分をそっくりお返しする」と言う。

それを与えられるのは限られた人だけで、しかも一度きり。これから先ずっと10%の消費税に苦しめられるのに。

アベくんは狙公(サルまわし)か。私たちは狙(サル)か。

(誠)

(朝三暮四 あらすじ)

宋の国に狙公(ソコウ)という人がいた。急に貧乏になり、せつかく自分に馴れている猿の機嫌をそこねてはまずいと思い、まず猿たちにこう言いました。

「お前たちにドングリをやるのに、これからは朝に三つ、暮に四つにしようと思うがどうだ？」すると猿たちは皆怒り出した。

狙公はこう言いなおした。「それじゃ、朝は四つ、暮に三つということにしよう。そうすればよかるう？」

猿たちは皆喜んでうなずいた。

自民の改憲案は

九条2項の

【戦力及び交戦権の否認】を

ただし書きで否定

憲法記念日「5・3憲法集会」が円山公園音楽堂で開かれ、参加者(約3300人)が改憲阻止を訴えました。

(主催は市民団体「憲法9条京都の会」など) 野党各党から挨拶とメッセージの後、「九条の会」事務局長の小森陽一さん(東京大大学院教授)の講演がありました。

(講演の概要)

この数日間のマスメディアの状況を見ると、安倍政権は新元号の進行に合わせて憲法審査会を開催しようとしている。



小森教授の円山音楽堂での講演

平成に平和を

もたらしたのは誰だった？

小森さんは、集団的自衛権行使を容認する安倍政権を批判し、平成という時代は主権者である私たちが必死に「憲法を守れ！」と運動していたから日本は戦争してこなかったし一人も戦争で死ぬことはなかった、と述べました。

自衛隊創設から60年になるが、これまでの自民党政権は、「自衛隊は日本の領土・領海を守る個別的自衛権の行使だけだから軍隊ではない」と説明してきた。それを安倍政権はかなぐりすてて「集団的自衛権行使の容認」を閣議決定だけで突破した。そこで「憲法違反の閣議決定をしないのか」と声をあげる市民と野党の共闘が進み始めた。

2015年、その閣議決定に基づき日米一体で軍事行動する安保法制(戦争法)がだされてきた。この時、国会を取り巻く市民たちが「戦争法は憲法違反!」「野党は共闘!」と言い続けた。その大きな声に励まされ、野党は本当に手を繋ぐことになった。

自民の改憲案?

2018年に出された自民党の改憲案は、九条の二に「自衛隊」条項を明記。

ただし、この条項を前条の規定『第九条2項【戦争の放棄と・戦力及び交戦権の否認】』は妨げないこと。としている。

つまり、九条に「自衛隊」を明記し、ただし書きで【戦力不保持と交戦権の否認】を定めた9条2項を否定している。この改憲案がどれだけ危

科学技術の進歩は、社会の発展に寄与する一方で、原子爆弾をはじめ、新たな兵器を生み出してきた。科学者は先の大戦をどう受け止めているのか。戦後70年。名古屋空襲を経験し、護憲活動にも参加するノーベル物理学賞受賞者の益川敏英氏に聞いた。

科学技術の進歩と

科学者について



益川敏英(ますかわとしひで) 愛知県生まれ。専門は素粒子論。2008年ノーベル物理学賞受賞。75歳(2016年)

※2015年 新春インタビューの一部を抜粋編集(赤旗日曜版)

険なものかを、多くの人に早く伝え、3000万署名を進めて改憲を阻止しましょう。と強調しました。(講演ルポ:事務局 樽門)

「虫も殺せないような人が平気で人を殺せるようになってしまふのが戦争だ。組織の中で動いてしまふ。だから恐ろしい」

1955年に世界の科学者らが「ラッセル・アインシュタイン宣言」で核廃絶を訴えました。「宣言を読むと、人類滅亡への強い危機感で書かれているのが分かる。僕はそれより少し身近に1人1人の今の生活を守りたい」という思いで話をしている。少数の意思で多くの人が亡くなるなんて許されることじゃない」

「科学者は放っておいたら自分の研究室で研究している方が面白い。本人にそのつもりがなくても、自分が開発した技術が戦闘機に使われるようなことも起こりうる。それに気付いたら科学者は社会に報告すべきなんでしょうね。でも普通はほしえない。だから集会や社会に連れ出したらいんだ。すると、平和が危ういということはずぐに分かるんだから」

忘却を思う

（最終回『西日本豪雨災害編』）

精神科ソーシャルワーカー

山田 龍亮

災害も戦争も、個人の生活に急激な変化をもたらす。しかし。かたや、やがて必ずどこかで起きるもの。かたや、人間の努力で回避できるもの――



いつ、どこで起こるか解らないが、しかしやがて必ず起こる災害と出逢うとき、私たちにできる物理的な備えには限界があります。だからこそ、一人一人の心構えが大切です。

だからこそ過去の災害体験を自分なりに言葉にして整理しておくことが、次の災害を迎える心構えを作るのです。

一般に言う「災害の記憶」の中には、災害を自ら体験した《直接体験》と、映像・写真・伝聞などから被災体験を想像し、被災者の心を想像した《間接体験》の二つが共存しています。つまり「災害の記憶」とは、体験者がそれぞれの立場から固有の感性で捉えた体験記憶が一括りになった、集合的記憶なのです。

この記事が配布される頃には、世の中は「新しい元号」「新しい時代」等々のことばが明るく踊り、未来に光を当てているのでしようが、明るく軽やかな未来に向けた言葉は、忘却を加速させるアクセルペダルです。元号が変わっても、復興が急激に進むわけではありません。

《直接体験》は自らの身体感覚を通した、すべてを正確に言葉で言い表すことのできない部分も含めた体験であり、一方の《間接体験》は流れてくる情報を個人の感性で受け止める体験ですから、両者の間には決して越えられない壁があります。精神的なダメージはそれぞれ

過去から学ぶことが私たちの心構えを作り、感性を鍛え、理性や知性に磨きをかけてくれることは、災害を迎えるための心構えも、再び戦争をしないための私たち一人一人の心構えにも、共通するのではないのでしょうか――。

しかし時間が流れるにつれ、体験直後の悲哀と危機感が作っていた心構えは減退します。

※参考

『講演とディスカッションの夕べ』
第一部「人間と災害」講演 高村薫

主催 近畿災害対策まちづくり支援機構

三月二十六日、大阪市中央区

紙芝居やさんの白い水あめが・
こどもの頃の思い出

投稿



戦中に壬生で生まれ育った私、子供の頃、紙芝居のおじさんが、自転車を近くの路地に止め、拍子木を打ち町内をまわり、子供等が集まって来る。私は兄弟妹6人いたので5円しかもらえず、センベイ、飴玉しか買えず、10円の水あめを二本の割箸でこねって白くなるのをうらやましく見ていた。

おじさんは声が良く話が上手で、のど仏が上下によく動いていた。その頃は、ラジオしかないので毎日楽しみに待っていた。それと映画を観るのも楽しみで近くに3本立てタイトルの映画館が3館あり一人で行くと通路まで満員でエッチな男性に身体をさわられたりしたので、弟をボディガードに連れていったりした。お正月だけ新京極の封切り映画館に行くのが嬉しかった。貧しくても平和が一番と思う。

この平和を孫たちにつなげたい。（芋峠 藤原敏子）



憲法ニュースの配布・宣伝活動

3月9日、物集スーパー激安前に「戦争法廃止！」のパネル9枚と「檜原九条の会」横断幕を配置し、ニュース100部を配布しながら「九条を守ろう！」と訴えました。(檜原憲法九条の会)

3000万署名で アベ改憲ストップ！

目標達成まで頑張ろう！
大きなご協力をお願いします。

★署名用紙はお届けします。
(事務局)樽門／下山まで)

投稿

金沢 銭がめ温泉宿で はぶにんぐ

田舎の小中学卒の仲間たちと今年は7名で金沢へ行きました。一日目は金沢城と兼六園、友禅会館と73歳を忘れて歩き廻りました。兼六園の桜は満開、見事な景色でした。その日の宿は金沢の街からバスで40分ほど揺られ、さらに迎えの車で山奥の宿「銭がめ温泉」へ。随分と田舎へ来たけれど、そこは昔前田藩の大名が鷹狩りに来た時に使われていたらしい。建物の太い柱や梁、紅殻の大広間。田舎育ちの私たちには懐かしい宿で、全員枕を並べての一夜となりました。その夜中のこと、私は部屋の鍵を開けて廊下にあるトイレに行きました。ところが、すぐ後に誰かが別のトイレに行ったのです。うとは知らず私は鍵を掛けて寝てしまったのです。

さて、締め出された彼女は、夜中のため声も出せず廊下でしばらくウロウロと。その内に気付いた仲間から鍵を開けてもらいました。大名屋敷の一夜、彼女は怒りもせず寝てくれたのでした。ほんとに平和でのんびりした思いの出の旅でした。

(檜原 S・T)

並べての一夜となりました。その夜中のこと、私は部屋の鍵を開けて廊下にあるトイレに行きました。ところが、すぐ後に誰かが別のトイレに行ったのです。うとは知らず私は鍵を掛けて寝てしまったのです。

九条文化のひろば

- 五月雨やアベノ改憲五八三二
- 百寿まで林天流滝のぼり

林天流翁乃弟子

- AIさん格差社会を治してよ
- 九条の旗のはためく五月晴れ

檜原 斜山

編集後記

西京九条の会連絡会代表
中村修さんを偲ぶ

代表代行 下山 誠

体調悪く1月から入院中のところ、4月12日に帰らぬ人となられました。5年前の2014年5月「西京九条の会連絡会」誕生の時から会を牽引してこられ、今年は一層の指導的活躍を期待していましたが、その喪失の大きさを痛感しています。

数学者また歴史学者らしく理論的で実証的な姿勢は揺るぎなく、感覚的で場当たり的な私は何度も怒りましたが、なんとか育ててやろうと言う暖かな愛情を常に感じ、それに応えられていない自分を心苦しく思っています。

お酒の席を三度ほど、カラオケを一度ご一緒して、また違った面も知ることができていただけに、もっとも話があったと残念でなりません。(2019年4月27日)

10連休が終わった。のんびり出来たという反面、私たちの生活には長すぎて様々な支障も生じたのではないのでしょうか？「平成」から「令和」へ新しい時代への幕開けです」とテレビや新聞は洪水のように「奉祝」を報道しています。安倍首相はこのブームを利用して、改憲を強力に進めようとしています。(改元)と(改憲)には全く関連はなく天皇制度の政治利用ではないでしょうか？今こそ平和憲法を守る為に「3000万署名を更に進め改憲を止めましょう。」

(中山)